

第 16 回中国帰国者問題写真と資料展

2024年4月16日から18日まで、岡山市役所1Fロビー展が開催された。今年のテーマは、昨年8月13日に亡くなった船越美智子さんを中心とした内容だった。



家族で龍爪開拓団に渡り、17歳で敗戦を迎えた船越美智子の歴史を写真と資料を通じて展示した。船越美智子は、10歳の時渡満し、25歳まで中国に滞在したことから中国語にも堪能で、岡山に帰国された残留孤児から「開拓団の母」と呼ばれた。また、船越美智子は波乱万丈だった人生を略歴と写真で紹介した。ソ連参戦後、龍爪開拓団から逃避行する際、8月15日祖母の松を失った。降伏して下山した横道河子の収容所では2度にわたって、ソ連兵による美智子への強姦未遂事件があった。拉子収容所、新京(長春)の日本人室町小学校、東大房身収容所など転々と移動した先の収容所は、発疹チフスと栄養失調で「生き地獄」の様子だった。遂に3月1日、父の繁一を発疹チフスで喪った。しかし、引き揚げ目前に18歳になった美智子は日本人男性と恋をして中国残留を決意する。昭和22年長男を出産するも、国共内戦が始まり、八路軍の長春包圍作戦(食糧封鎖)で、長男は栄養失調で死亡した。次男を身ごもってチャーズ(国民党支配下から八路軍支配下へ)を脱出したが、彼氏が行方不明になり、24歳年上の日本人大工と結婚して、吉林で働いた。長女も生まれ、昭和28年には中国共産党から日本人の帰国命令が出て興安丸で舞鶴港へ引き揚げた。しかし、日本人大工の男性には先に帰っていた奥さんが東京にいたことが判明した。二人の子を認知してもらって、戦後はミシン1台で美智子は二人の子を育てた。1972年に日中国交回復し、美智子の生活も余裕が出来たので、龍爪開拓団の名簿づくりや交流会の世話をした。1980年野呂厚生大臣と訪中し、満州の土となった日本人遺骨を弔い、埋葬地を訪ねた。70年代から龍爪開拓団の記録を作成し、1988年中国に残った龍爪開拓団の残留孤児を訪問し、また80年代～90年代に中国残留孤児が岡山に帰国した際、得意な中国語を話し、彼ら(彼女ら)の身のまわりの世話など親身になって自立の支援をした美智子の生涯を写真と資料で紹介した。

写真と資料展は、船越美智子の生涯以外に「小規模多機能ホームいほり」という介護施設の取り組みと日本

語教室(財田・高島・芳田)を紹介した。「ホームいほり」介護施設には、利用者28名(帰国者一世15名、二世13名が利用)、スタッフも日本人4名中国人14名が働いている。地域の人と共に楽しんだ夏祭り、敬老会、紅葉狩り、ハロウィン、クリスマス、春節、花見など楽しくアットホームな様子が紹介されている



日本語教室は、財田(週3回)・高島(週1回)・芳田(週1回)開催されている。学ぶ中国からの帰国者は日本語で、日本の暮らし、行ってみたいところ、先生への感謝などを書いている。こう言った実態を多くの人に知ってもらいたい。

中国帰国者の市役所ロビー展では、約100人が資料を受け取ってくれた。中には満州で父親が憲兵の任務についていて、戦後の父と娘の葛藤を詳しくお聞きする機会もあった。

ある50代の男性の感想文を紹介する。

「一人の個人の方の生涯(戦後の帰国後の活動を含め)を通して見ることで、歴史的事実としてだけでなく、生き生きとしたドラマ(変な言い方ですが)本当に生きた人間がそこにおいて、喜怒哀楽を感じていたのだと感じることが出来ました。そして、そのことが逆に歴史の様々なことを考えさせるところになると思いました。毎年有難うございます」

来て下さった劉勝徳さん(華僑・華人協会会長)、日本語教室の皆さん、ホームいほりのみなさん、船越美智子さんの娘眞理さん夫妻、議員の方、新聞記者の方々、ありがとうございました。

青木康嘉

1021
2024/5/1

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
 メールアドレス
 nicchukayama@yahoo.co.jp





太極拳第 100 期修了式

4月10日水曜、太極拳講習会第100期の修了式がありました。人数こそ少なかったものの、今期の練習の成果(簡化24式、32式太極剣)をそれぞれ披露しました。指導員も陳式、呉式の表演をしました。入門クラスは無料体験者があり来期4名に増え、上級クラスも昔習っていたひとが友人を連れての参加で2名増えそうです。嬉しい春になりました。

最後にお茶とお菓子の座談会で次のような感想を交歓しました。「継続していることは力になる。」「毎朝しているとその日1日が違う!」「朝太極拳をすると、その日はやる気が増して、大儀な気持ちになることはない!」

楽しい楽しい太極拳を続けましょう! 暫くお休みしても大丈夫! その気になったら、また一緒に練習しましょう。門戸はいつでも開いて待ってま〜す。

指導員 岡田 民

2024. 7. 21 (日) 井原市出部公民館 日中友好協会岡山県連講演会

憲法 9 条と北東アジアの平和創造 -

日中が再び戦わないために

北東アジアは、冷戦時代の遺構が強く残っています。朝鮮半島の南北分断、中国本土と台湾の分断です。これに核兵器の存在が特別なリスクを与えています。

米・露・中の核兵器保有国、事実上の核兵器国北朝鮮です。

さらに日本は、中国・韓国・ロシアとの間で領土紛争を抱えています。

北東アジアには、欧州(OSCE)、アフリカ(AU)、南米(南米諸国連合UNASUR)、東南アジア(ASEAN)のような地域的安全保障の枠組すらありません。

台湾海峡を巡る中台武力紛争は、日米を巻き込む深刻な大規模地域紛争となりえます。台湾問題の武力による解決は絶対に避けなければなりません。

この中で憲法9条を持つ日本の存在と私たちの選択は北東アジアでの平和創造のカギを握っているといつてよいでしょう。

2022年12月安全保障三文書以降日米間で進む戦争準備が北東アジアの国際関係を分断と対立、武力紛争のリスクを高めています。

私たちがどのような選択をしたら良いのでしょうか。一緒に考えて見ましょう。

宇野忠義

4月20日、21日に米子産業体育館であった、

米子支部の太極拳特別講習会に

岡山から3人参加しました。

20日の特別講習会は東京から高橋清枝先生が来られていて、午前は42式剣、午後は32式剣を指導してもらいました。

20日の42式剣は、ずっと以前にやったことがある套路だったけど、ほとんど覚えていなかったの、周りの人を見て真似をしてがんばりました。見て真似をして動くのがすごく難しいというのを久々に感じました。初心にかえるのは本当大切です。



21日の講習会については次号に掲載します。

小川涼子

次回の新聞送作業は
5月13日(月)午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

河井
貝吹
青木ゆ
犬飼
真田
河原